

平成 30 年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

保 育 原 理

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文を「児童福祉法」第1条の記述として完成させる場合、(A)～(D)
にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

全て児童は、(A)の精神にのっとり、適切に(B)されること、その生活を保障されること、愛され、(C)されること、その心身の健やかな成長及び発達並びにその自立が図られることその他の(D)を等しく保障される権利を有する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	日本国憲法	養育	保護	人権
2	日本国憲法	教育	保護	福祉
3	児童の権利に関する条約	養育	保護	福祉
4	児童の権利に関する条約	教育	尊重	福祉
5	児童の権利に関する条約	教育	尊重	人権

問2 次の文のうち、「児童憲章」の一部として、不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 すべての児童は、心身ともに、健やかに生まれ、育てられ、その生活を保障される。
- 2 すべての児童は、自由に自己の意見を表明する権利を確保される。
- 3 すべての児童は、適当な栄養と住居と被服が与えられ、また、疾病と災害からまもられる。
- 4 すべての児童は、就学のみちを確保され、また、十分に整った教育の施設を用意される。
- 5 すべての児童は、よい遊び場と文化財を用意され、わるい環境からまもられる。

問3 次の文は、「児童福祉法」第2条の条文である。(A) ~ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

第2条 全て国民は、児童が良好な (A) において生まれ、かつ、社会のあらゆる分野において、児童の年齢及び発達の程度に応じて、その (B) が尊重され、その最善の利益が優先して考慮され、心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

2 児童の (C) は、児童を心身ともに健やかに育成することについて第一義的責任を負う。

3 (D) は、児童の (C) とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	家庭	意見	後見人	社会福祉法人
2	家庭	人権	後見人	国及び地方公共団体
3	家庭	人権	保護者	国及び地方公共団体
4	環境	人権	保護者	社会福祉法人
5	環境	意見	保護者	国及び地方公共団体

問4 「子ども・子育て支援法」第19条に規定する子どものための教育・保育給付の支給要件として、「保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの」が定められている。次の文は、「内閣府令で定める事由」を定める「子ども・子育て支援法施行規則」第1条に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 妊娠中であるか又は出産後間がないこと。
- 2 疾病にかかり、若しくは負傷し、又は精神若しくは身体に障害を有していること。
- 3 求職活動（起業の準備を含む。）を継続的に行っていること。
- 4 知人と旅行に行くため数日間自宅を留守にすること。
- 5 震災、風水害、火災その他の災害の復旧に当たっていること。

問5 次の文は、地域型保育事業についての記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 家庭的保育事業とは、原則として満3歳未満の保育を必要とする乳児・幼児を対象に、家庭的保育者の居宅その他の場所（当該乳児・幼児の居宅を除く。）において、利用定員5人以下で行う小規模の保育事業である。
- 2 家庭的保育者とは、市町村長が行う研修を修了した保育士（国家戦略特別区域限定保育士を含む。）又は保育士と同等以上の知識及び経験を有すると市町村長が認める者であって、保育を必要とする乳児・幼児の保育を行う者として市町村長が適当と認めるものである。
- 3 小規模保育事業とは、認可保育所の利用定員に満たない小さい保育所において、原則として満3歳未満の保育を必要とする乳児・幼児を対象に、利用定員6人以上30人以下で行う保育事業である。
- 4 居宅訪問型保育事業とは、原則として満3歳未満の保育を必要とする乳児・幼児を対象に、当該乳児・幼児の居宅において、家庭的保育者による保育を行う事業である。
- 5 事業所内保育事業とは、主に企業が自社の従業員への仕事と子育ての両立支援策として、従業員の子どもで、原則として満3歳未満の保育を必要とする乳児・幼児を保育するほか、事業所の関係者に限らず、地域において保育を必要とする満3歳未満の乳児・幼児にも保育を提供する事業である。

問6 次の文は、「保育所保育指針」についての記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「保育所保育指針」は、1956（昭和31）年「幼稚園教育要領」と同時に初めて作成された。
- 2 第1次改定（1990（平成2）年4月施行）による「保育所保育指針」に示された内容は、保育者主導型の保育内容であった。
- 3 第2次改定（2000（平成12）年4月施行）による「保育所保育指針」第1章「総則」には、「乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしいものでなければならない。」として、乳幼児の最善の利益を考慮するという視点が盛り込まれている。
- 4 第3次改定（2009（平成21）年4月施行）による「保育所保育指針」は、あくまで保育の手引書であり、法的拘束力を持つものではなかった。
- 5 第4次改定（2018（平成30）年4月施行）による「保育所保育指針」の第2章には、発達過程として、子どもの発達の姿が「おおむね6か月未満」から「おおむね6歳」まで、8つに区分されて記されている。

問7 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」の（1）「養護の理念」の記述である。

（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育における養護とは、子どもの（ A ）及び（ B ）を図るために保育士等が行う援助や関わりであり、保育所における保育は、養護及び（ C ）を（ D ）に行うことをその特性とするものである。保育所における保育全体を通じて、養護に関するねらい及び内容を踏まえた保育が展開されなければならない。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	生命の保持	情緒の安定	教育	一体的
2	生命の保持	情緒の安定	育成	連続的
3	生命の保持	衛生上の措置	教育	連続的
4	安全の確保	衛生上の措置	育成	一体的
5	安全の確保	情緒の安定	教育	一体的

問8 次の文は、「保育所保育指針」第1章「総則」の(4)「保育の環境」の一部である。

(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育の環境には、保育士等や子どもなどの (A)、施設や遊具などの (B)、更には自然や社会の事象などがある。保育所は、こうした人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が (C) ものとなるよう、次の事項に留意しつつ、計画的に (D) し、工夫して保育しなければならない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	人的環境	物的環境	教育的な	環境を構成
2	人的環境	物的環境	豊かな	環境を構成
3	人的環境	室内設備	豊かな	安全を確保
4	愛着関係	物的環境	豊かな	安全を確保
5	愛着関係	室内設備	教育的な	安全を確保

問9 次の文は、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の1「乳児保育に関わるねらい及び内容」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

乳児期の発達については、視覚、(A) などの感覚や、座る、(B)、歩くなどの運動機能が著しく発達し、特定の大人との(C) な関わりを通じて、(D) が形成されるといった特徴がある。これらの発達の特徴を踏まえて、乳児保育は、愛情豊かに、(C) に行われることが特に必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	触覚	ほう	受動的	情緒的な ^{きずな} 絆
2	触覚	にぎる	応答的	言語能力の基盤
3	聴覚	にぎる	受動的	情緒的な ^{きずな} 絆
4	聴覚	ほう	応答的	情緒的な ^{きずな} 絆
5	聴覚	ほう	応答的	言語能力の基盤

問 10 次の文は、「保育所保育指針」第4章「子育て支援」の2「保育所を利用している保護者に対する子育て支援」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 日常の保育に関連した様々な機会を活用し子どもの日々の様子の伝達や収集、保育所保育の意図の説明などを通じて、保護者との(A)を図るよう努めること。
- ・ 保護者の就労と子育ての両立等を支援するため、保護者の多様化した保育の需要に応じ、(B)など多様な事業を実施する場合には、保護者の状況に配慮するとともに、子どもの福祉が尊重されるよう努め、子どもの生活の(C)を考慮すること。
- ・ (D)など、特別な配慮を必要とする家庭の場合には、状況等に応じて個別の支援を行うよう努めること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	苦情解決	介護福祉事業	連続性	3歳未満児を養育する家庭
2	苦情解決	病児保育事業	自立性	外国籍家庭
3	相互理解	病児保育事業	自立性	外国籍家庭
4	相互理解	介護福祉事業	連続性	3歳未満児を養育する家庭
5	相互理解	病児保育事業	連続性	外国籍家庭

問 11 次の文は、「保育所保育指針」第 5 章「職員の資質向上」の 4「研修の実施体制等」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 保育所においては、当該保育所における保育の課題や各職員の (A) 等も見据えて、(B) から管理職員までの職位や職務内容等を踏まえた (C) な研修計画を作成しなければならない。
- ・ 外部研修に参加する職員は、自らの専門性の向上を図るとともに、保育所における保育の課題を理解し、その解決を実践できる力を身に付けることが重要である。また、研修で得た知識及び技能を他の職員と共有することにより、(D) としての保育実践の質及び専門性の向上につなげていくことが求められる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	キャリアパス	中堅保育者	教育的	保育所全体
2	キャリアパス	初任者	体系的	保育所全体
3	保育力	初任者	教育的	保育所全体
4	保育力	中堅保育者	体系的	職員一個人
5	保育力	初任者	体系的	職員一個人

問 12 次の文は、外国において保育に貢献した人物についての記述である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ エレン・ケイ (Key, E.) は、1900 年、(A) を刊行したスウェーデンの女性思想家である。
- ・ ルソー (Rousseau, J.-J.) は、フランスで、1762 年、(B) を出版した。これは、一人の男性家庭教師が、貴族の男児を誕生から社会人になるまで育てるという物語である。ルソーは、(B) の冒頭で「創造主の手から出る時には、全てが善い」と述べ、人間の本性の善なることを宣言した。
- ・ デューイ (Dewey, J.) は、1899 年、(C) を出版した。これは、シカゴ大学で教鞭をとりながら設立・運営に携わった実験学校を紹介したものである。
- ・ フレーベル (Fröbel, F. W.) は、1826 年、(D) を書いた。彼は、乳幼児期の遊びの意義について「遊びはこの時期の人間の発達の最高の段階である。(略) 全ての善いもの出てくる源でもある。」として記している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	『児童の世紀』	『エミール』	『学校と社会』	『人間の教育』
2	『児童の世紀』	『イタール』	『学校と社会』	『隠者の夕暮』
3	『児童の世紀』	『エミール』	『子どもの発見』	『人間の教育』
4	『子どもの誕生』	『イタール』	『学校と社会』	『隠者の夕暮』
5	『子どもの誕生』	『エミール』	『子どもの発見』	『人間の教育』

問 13 次の文は、日本の保育の歴史に関する記述である。(A) ~ (D) にあてはまる人名を【語群】から選択した場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- (A) は、大正から昭和にかけて日本の幼児教育の理論的な指導者で、児童中心の進歩的な保育を提唱した。「幼児の生活それ自身が自己充実の大きな力を持っている」がゆえに、幼児の生活を「さながらにしておく」ことが大切であるとした。幼児の自発生活を尊重し、「生活を、生活で、生活へ」と導いていくことが大切であるとした。
- (B) は、1890 (明治 23) 年、新潟の自宅の私塾を「新潟静修学校」と改名のうえ、内容の充実をはかった。その妻仲子 (ナカともいう) は生徒の幼い兄弟を校内で預かり、世話をした。これらはしだいに託児所として発展するにいたった。この保育事業を、その後「守孤扶独幼稚児保護会」と称して、一般に公開された。
- (C) は、江戸時代の農政学者、国学者である。1848 年著書『垂統秘録』において、教育保育機関の構想を示した。その中には、貧困乳幼児保育施設の場として「滋育館」、幼児託児施設として「遊児廠」が示されている。
- (D) は、1936 (昭和 11) 年、保育の諸問題に関する研究者と幼稚園・保育所の実践者の共同研究組織として、保育問題研究会を設立し、指導した。また、1939 (昭和 14) 年、『幼児教育論』を出版した。

【語群】

ア 和田実	イ 東基吉	ウ 赤沢鍾美	エ 佐藤信淵
オ 鈴木三重吉	カ 橋詰良一	キ 城戸幡太郎	ク 倉橋惣三

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ア | ウ | エ | イ |
| 2 | ア | オ | イ | キ |
| 3 | ク | ウ | エ | キ |
| 4 | ク | ウ | オ | カ |
| 5 | ク | オ | イ | カ |

問 14 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

3歳児クラスに新入所したM君は、鉄道が好きです。新しい環境にとっても緊張し、入所から2か月が経とうとしていますが、不安な様子で保育士のそばをなかなか離れません。時々保育士と他児と一緒に鉄道の絵本を見たり、電車ごっこをしたりして楽しむ姿が見られます。保育士はもっと積極的に大勢の友達と遊んでほしいと思っていますが、今後どのように対応したらよいか悩んでいます。

【設問】

M君に対して、「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の(1)「保育全般に関わる配慮事項」に基づいた保育士の援助として、最も不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 M君の心身の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえるとともに、M君の気持ちを受け止めた援助が大切なことから、鉄道の絵本やごっこ遊びなどで他児と一緒に楽しんでいるときに保育士も一緒に遊びを楽しみ、友達と遊ぶ楽しさを味わえるようにする。
- 2 子どもの健康は、生理的・身体的な育ちとともに、自主性や社会性、豊かな感性の育ちとがあいまってもらわれることから、M君の友達との関わりだけでなく、日常生活の中で安心感や自信をもって生活を送れるように気を配って援助する。
- 3 子どもの入所時の保育に当たっては、次第に保育所の生活になじんでいくように、できるだけ個別に対応することが求められることから、M君に対して現時点では積極的に大勢の友達と遊ぶということを求めることはしない。
- 4 M君は入所して2か月が経過し、男児であることから、不安な気持ちを共感しながら「男の子だから大丈夫だよ」と背中を押すような言葉を掛けて、一斉活動を経験できるように援助する。
- 5 子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助することが大切であることから、M君の鉄道への興味や関心を生かして自ら関わりたくなるような物や場所などの環境を用意する。

問 15 次の文のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の（２）「保育の目標」の一部として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
- B 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして競争し、挑戦する心を育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
- C 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うこと。
- D 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、書いたりすることを理解しようとするなど、語彙力を高めること。
- E 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	×	○
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	×	○	×

問 16 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の（3）「保育の方法」の一部である。
 （ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 一人一人の子どもの状況や家庭及び地域社会での生活の実態を把握するとともに、子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子どもの主体としての（ A ）を受け止めること。
- ・ 子どもが（ B ）に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。特に、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、（ C ）を通して総合的に保育すること。
- ・ 一人一人の保護者の状況やその意向を理解、受容し、それぞれの（ D ）や家庭生活等に配慮しながら、様々な機会をとらえ、適切に援助すること。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	言動	自発的・意欲的	玩具や教具	地域生活
2	思いや願い	積極的・個別的	生活や遊び	親子関係
3	言動	積極的・個別的	生活や遊び	地域生活
4	思いや願い	自発的・意欲的	生活や遊び	親子関係
5	思いや願い	自発的・意欲的	玩具や教具	地域生活

問 17 次の保育所での【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

6月下旬、2歳児のH君は、園庭の水道の蛇口をいっぱいひねって勢いよく水を出し、そこに砂場道具のコップで水を汲むようなしぐさをしています。水の勢が強すぎて、コップに水は溜まりませんが、H君はぐっしょり濡れながらもとても嬉しそうにコップを何度もかざしています。しばらくすると、蛇口をひねって水の勢いを弱くしたり、強くしたりしています。どうやらH君は、コップに水を汲みたいのではなく、水の勢いで感じるコップに伝わる重さの変化を楽しんでいるのだと分かってきました。

【設問】

「保育所保育指針」第2章「保育の内容」の2「1歳以上3歳未満児の保育に関わるねらい及び内容」のウ「環境」に基づいたH君への今後の対応を考えた場合、最も不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 H君の感覚の働きを豊かにできるように、安全で、より活動しやすい環境として水遊びの場を用意し、水に十分に触れ合えるようにする。
- 2 実際に水で遊ぶ中で、水の性質等に気付くよう、コップ以外にもホースやたらいなどで水を流したり、汲んだりできるようにする。
- 3 水に触れ合うよりも、H君の体が濡れないように、水には触れない環境を用意し、保育者が代わりにやってみせるようにする。
- 4 様々な大きさの容器やホースなどの玩具や遊具を用意し、それらを使った遊びを楽しむようにする。
- 5 H君がもっと水について発見を楽しんだり、考えたりできるように、水に関する絵本や色水の玩具など様々なものを用意する。

問 18 次の文のうち、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の（１）「全体的な計画の作成」及び（２）「指導計画の作成」の一部として、適切な記述の組み合わせを一つ選びなさい。

- A 保育所は、各保育所が保育の目標を等しく達成するために、子どもの発達段階を細かく踏まえたプログラムに基づき、保育の内容が組織的・計画的に構成されるよう、全体的な計画を作成しなければならない。
- B 全体的な計画は、保育所の規模、保育士の実態、地域住民との関係などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的見通しをもって適切にカリキュラムマネジメントされなければならない。
- C 全体的な計画は、保育所保育の全体像を包括的に示すものとし、これに基づく指導計画、保健計画、食育計画等を通じて、各保育所が創意工夫して保育できるよう、作成されなければならない。
- D 保育所は、全体的な計画に基づき、具体的な保育が適切に展開されるよう、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と、それに関連しながら、より具体的な子どもの日々の生活に即した短期的な指導計画を作成しなければならない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問 19 次の文は、「保育所保育指針」第 1 章「総則」の(1)「育みたい資質・能力」の一部である。(A) ～ (D) にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

保育所においては、生涯にわたる生きる力の基礎を培うため、1の(2)に示す保育の目標を踏まえ、次に掲げる資質・能力を一体的に育むよう努めるものとする。

- ・ 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、できるようになったりする「(A) の基礎」
- ・ 気付いたことや、できるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「(B)、(C)、表現力等の基礎」
- ・ 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする「(D)、人間性等」

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	経験及び技術	思考力	構成力	学びに向かう力
2	経験及び技術	注意力	判断力	社会性
3	知識及び技能	思考力	判断力	学びに向かう力
4	知識及び技能	思考力	構成力	道徳性
5	知識及び技能	集中力	耐久力	道徳性

問 20 次の文は、「保育所保育指針」第 2 章「保育の内容」の（2）「小学校との連携」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえて、小学校教育が円滑に行われるよう示した、子どもの小学校就学時までには必ず達成する到達目標であることを考慮して保育士等が指導を行うこと。
- B 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- C 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
- D 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	○
5	×	○	○	×